

～4 自治体が初参加 東北・北関東・九州の特産が目白押し！～ 再エネ連携自治体交流物産展を開催します！



横浜市は、2050 年までの脱炭素化の実現に向けて再生可能エネルギー（以下、「再エネ」という。）の普及拡大に取り組んでおり、再エネ資源を豊富に有する市町村と連携協定を締結しています。

このたび、連携自治体の魅力を身近に感じていただける交流物産展を開催します。東北・北関東・九州の特産を一度に楽しめる貴重な 2 日間です。

また、実際に連携自治体を訪問した高校生が、現地での体験及び地域の魅力を皆様にお伝えする環境学習発表会を同時開催します。

再エネ連携自治体交流物産展 概要

日時：令和 8 年 10 月 8 日（木） 12 時～18 時

10 月 9 日（金） 10 時～14 時

※当日の準備や販売状況等により時間を変更することがあります。

場所：横浜市役所 1 階アトリウム（横浜市中区本町 6-50-10）

内容：特産品販売、観光 PR 等、高校生の環境学習発表等

主催：横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局循環型社会推進課

＜出展自治体＞

青森県横浜町 ポテトチップス	岩手県久慈市 南部煎餅	岩手県岩手町 初参加 岩手町の野菜	岩手県軽米町 さるなし商品
岩手県洋野町 赤鶏カレー	岩手県九戸村 キングオブチキングッズ	岩手県一戸町 くるみもなか	福島県いわき市 芳醇プレミアムたこせんべい
福島県浪江町 初参加 なみえ焼きそば	茨城県神栖市 神栖市の野菜	栃木県那須塩原市 初参加 ジャム	大分県日出町 初参加 カボス

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



高校生の環境学習発表会

横浜市では、再エネに関する連携協定に基づき、連携自治体との交流を進めています。このたび、福島県いわき市及び浪江町を訪問した関東学院高等学校と、浪江町を訪問した神奈川県立横浜瀬谷高等学校の生徒が現地で学んだ地域の魅力や環境に関する発表を行います。

＜高校生による環境学習発表会＞

日時：令和8年10月8日(木) ①12時～13時ごろ、②14時～15時ごろ

参加校：関東学院高等学校（①のみ）、神奈川県立横浜瀬谷高等学校（①、②両方）

テーマ：環境、再エネ、地域創生、地産地消など



いわき市の農業体験施設の訪問



浪江町の水素ステーションの訪問

(参考)再エネに関する連携協定

横浜市の再エネの創出ポテンシャルは2050年の市内の電力消費量の約10%と試算され、再エネへ転換するためには、市域外からの供給が必要不可欠です。2050年までの脱炭素社会の実現に向け、再エネ資源を豊富に有する22市町村（※）と、再エネの創出・導入・利用拡大、相互の地域活力の創出等の分野において連携協定を締結しています。



※22市町村：青森県横浜町

岩手県盛岡市、久慈市、二戸市、葛巻町、岩手町、普代村、軽米町、野田村、
九戸村、洋野町、一戸町

秋田県湯沢市、八峰町、大潟村

福島県会津若松市、郡山市、いわき市、浪江町

茨城県神栖市

栃木県那須塩原市

大分県日出町

お問合せ先

循環型社会推進課長 松下 Tel 045-671-2636



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





横浜市は連携自治体とともに
脱炭素社会の実現を目指します



再エネ連携自治体交流

物産展

10/8(木)・9(金)

12:00~18:00 10:00~14:00

※当日の販売状況等により時間を変更することがあります

横浜市役所 1階 アトリウム

参加自治体

- ・青森県 横浜町
- ・岩手県 久慈市^初 岩手町 軽米町 洋野町 九戸村 一戸町
- ・福島県 いわき市^初 浪江町
- ・茨城県 神栖市
- ・栃木県^初 那須塩原市
- ・大分県^初 日出町



横浜市と連携自治体の
再エネの取組はこちら



環境学習発表会（10月8日のみ）

12:00ごろ 関東学院高校、横浜瀬谷高校

14:00ごろ 横浜瀬谷高校

※生徒が浪江町（両校）、いわき市（関東学院高校）を訪問し
現地で得た学びや体験の成果を発表します



※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります

脱炭素・GREEN×EXPO推進局循環型社会推進課